あおぞらニコニコ通信

令和５年度７月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きらきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の１
ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp

いつも笑顔！ 飯塚園長ごあいさつ

集中してお絵描きに取り組むぺんぎん組のお子様

厳暑の中、体調を崩されていませんか？コロナ感染症も少しずつ増えているとの情報もありますが、世間では旅行やイベントなどが復活し、楽しげな映像が映し出されています。あおぞら園でも、消毒や体調管理などは、引き続きしっかり実施いたしますが、イベントやプール遊びなどは再開です。

あおぞら園でも、ゆりかご通信に書きました様に明石海浜プールから「障害のある子ども達が、利用出来るように配慮をしていきたいから、試しプール利用をしてくれないか」とのお声かけがあり１度、試し利用をさせて頂く予定です。

先日、あおぞら園の保護者の方からも保護者会後にご相談が何件かありました。内容は色々ですが、私としましては、このようにお話を聞かせて頂くことが非常にありがたく思っています。なぜなら、たくさんの個々に違ったご意見などから、試行錯誤して、こどもたちやそのご家族が暮らしやすくなるお手伝いができるからです。微力ではありますが、一人ではできないことも「三人寄れば文殊の知恵」と諺でもあるように、何か良い知恵が出るはずです。

これからも、皆さんのお知恵もお借りしながら、住みやすい明石になるように何か発信していきたいと思います。

前期あおぞらセミナーが決定しました！～愛着形成が学べる米澤先生の講座～

今回は８月５日(土)、場所はあおぞら園の遊戯室、13 時 30 分から 15 時で和歌山大学の米澤好史先生にスクリーンに登場していただき、みなさんでお話を聴くという形になりました。

今回のテーマは「愛着」です。私は心理士なので学生の時からよく耳にしてきた言葉ですが、専門外の方にはあまりなじみがないかもしれません。愛着（アタッチメント）とは、赤ちゃんが養育者（多くはお母さん）と一緒に形成する、特別な情緒的結びつきのことを言います。早期の愛着形成のあり方はその後の人格形成に大きく影響する、とても重要なものと考えられています。

私は以前から、発達障害のように生まれつき社会性を身につけることが難しいタイプのお子様の中には、生まれた時からすでに良好な愛着関係を築くことが苦手なお子様がいるのではないかと考えていました。お子さまの側が、お母さんからの愛情を上手に受けとめられなかったりするためです。子育て中で、お子様との関係に悩まれている方もおられるのではないでしょうか。

米澤先生は子ども側の愛情の受け入れ状態を「愛情の器」というモデルで示され、それに基づいたさまざまな支援をしてこられました。今回のセミナーでは、お子様との関係を考える新しい視点を提供していただけると思います。子育てで悩まれている保護者の方、支援をしておられるすべての方に聴いていただきたいと思います。（副施設長 / 公認心理師：吉川）

久しぶりに交流保育に行ってきました！～より良い経験を大切に～

真剣に太鼓をたたいて遊ぶらっこ組のお子様

新型コロナウイルス感染症が流行するまでは近隣の幼稚園やこども園、保育園にご協力いただき、一緒に水遊びをしたり園庭遊びをするなど、『交流保育』をさせていただいていました。今年度は新型コロナウイルス感染症が５類へ移行されたことを受け、早速、西二見にあるハンプティダンプティ保育園に交流保育に行ってきました！

当日は出発するときから「どこに行くんだろう」と不安な様子を見せるお子様や、バスでのお出掛けにウキウキするお子様など様々でした。ハンプティダンプティ保育園のおともだちとリトミックや「ロンドン橋落ちた」など一緒に楽しく遊びながら交流をさせていただきました。遊んでいる際、普段はあおぞら園で見ることがないお子様の楽しむ様子などを見ることができ、良かったです。

今回受け入れていただいた、ハンプティダンプティ保育園の園長先生をはじめ諸先生方、当日一緒に遊んでくれた＂ぞう組＂のおともだち、本当にありがとうございました。これからもお子様たちにより良い経験を積み重ねていけるように様々なことを企画していきたいと思います。（主任：大向）

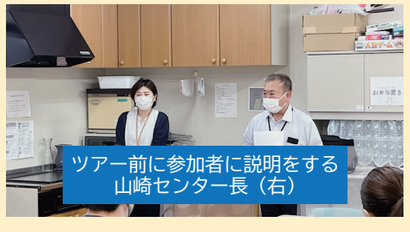
あかしの福祉の好事例集ご紹介！～あおぞら園の取り組みが読売新聞に掲載～

昨年度、明石市から「あかしの福祉の好事例集」という募集があり、あおぞら園・きらきらからも３例応募しました。６月には明石市内の介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所から 35 事例が集まった好事例集が完成し明石市のホームページにも掲載されています。その好事例集を見た読売新聞社から「代替サービス用の動画撮影の取り組みを紹介したい」と連絡をいただきました。早速６月 19 日の朝刊にあおぞら園・きらきらの取り組みを紹介していただきました。明石市立あおぞら園・きらきらのことをたくさんの方々に知ってもらえる機会をいただけことを嬉しく思います。

これからは、コロナ禍の代替サービス用の動画としてだけではなく、新しい動画を配信していき、あおぞら園・きらきらに通う子ども達に楽しんでもらいたいと思います。（主任：泉川）

泉川主任出演のお子様向け療育動画

復活！あおぞら園就労見学ツアー ～サポートセンター曙との共同企画～


ツアー前に参加者に説明をする山崎センター長（右）

とうとうこの時がやってきました！社会福祉法人明桜会サポートセンター曙と明石市立あおぞら園共同企画「就労見学ツアー」の復活です！！

1000 の就労事例を知る明石市随一の障害のある方の就労支援のスペシャリスト、サポートセンター曙の山崎センター長が同行して、ただ単に就労・生活介護の事業所や特例子会社を見学するのだけでなく、遊びやお手伝いが実は将来の＂働く＂につながるお話など、今回も他では体験することが出来ない充実した内容で７名の支援の必要なお子様を育てる保護者の方とともに、4 事業所と川崎重工業株式会社の特例子会社子を見学しました。

今年度はあと数回ショートバージョン、ロングバージョンや保護者向け、支援者向けなど、山崎センター長とともに企画していきますのでご期待ください！（服部）